

# KOSEN の窓

高専といえば、「高専ロボコン」を連想する方が多いのではないのでしょうか。

全国高等専門学校ロボットコンテスト、通称「高専ロボコン」は1988年から始まり、今年で31年目を迎えます。毎年NHKがテレビ放送しているのですが、多いかと思いますが、知らない方のために簡単に説明をします。毎年出題される課題

(競技のルール)に対して、全国の高専生が自分たちで製作したロボットで挑戦するコンテストです。

私自身高専出身で、学生時代の97年「花開蝶来」、98年「生命上陸」に

「プ」とは、飲み物が入ったペットボトルを投げつけて、テーブルの上にかつこよく立たせる曲技のことです。

人間でも難しいこの技を、どうやってロボットで実現させるのが課題

## 高専ロボコン.. 観客を魅了するロボットをつくる!

28

有明高専創造工学科講師

坂本 武司

出場しました。現在もその縁で、本校の高専ロボコンに参加するための活動を行っているサークル「ロボット研究部」の顧問をしています。

今年の高専ロボコンの課題は「ボトルフリック」です。「ボトルフリック

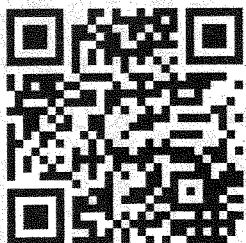
です。1チーム2台までのロボットが自陣の八つのテーブルに向かって、ペットボトルを投げて、2分の制限時間内に立たせたペットボトルの数で得点を競い合います。10月21日、みづま総合体育館(久留米市)で九州



ロボット製作にいそしむ「ロボット研究部」の学生

沖縄地区大会が開催されます。国技館で開催される全国大会に出場できるのは9高専18チームのうち、審査員によって選考されます。全国大会に出場するためには、競技に勝てることはもちろんですが、観衆を魅了するパフォーマンスを見せられるロボットを製作することも求められます。

本校でも4月下旬の課題発表から、地区大会に向けて、ロボットの製作が急ピッチで行われています。会場で、またはテレビ放送で完成したロボットをご披露できると思います。応援をよろしくお願いします。



高専ロボコンwebサイトへ